

倶多楽火山

○大正地獄の熱泥水噴騰活動

2007年5月2日夕刻～3日早朝の間に始まった熱泥水噴騰活動は、約1年半が経過した現在も継続している(図1)。

6月以降の熱水噴騰は約1日間隔で繰り返されるようになった。さらに8月中旬以降は熱水噴騰に伴う地動の振幅が小さくなり、人工ノイズの高い日中には識別が難しくなってきた。

全体として噴騰活動は穏やかで、噴騰の終息が近づいていることを伺わせる。

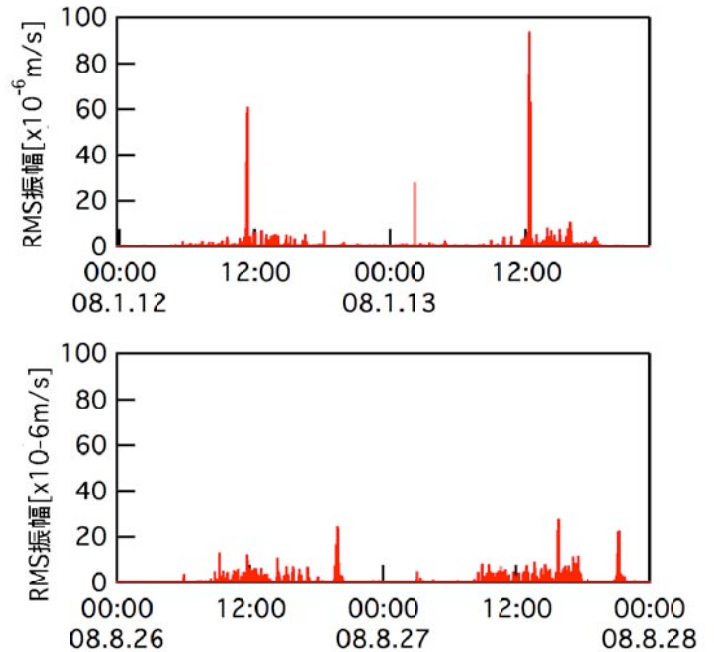


写真1. 2008年1月と2008年8月末のRMS振幅の比較

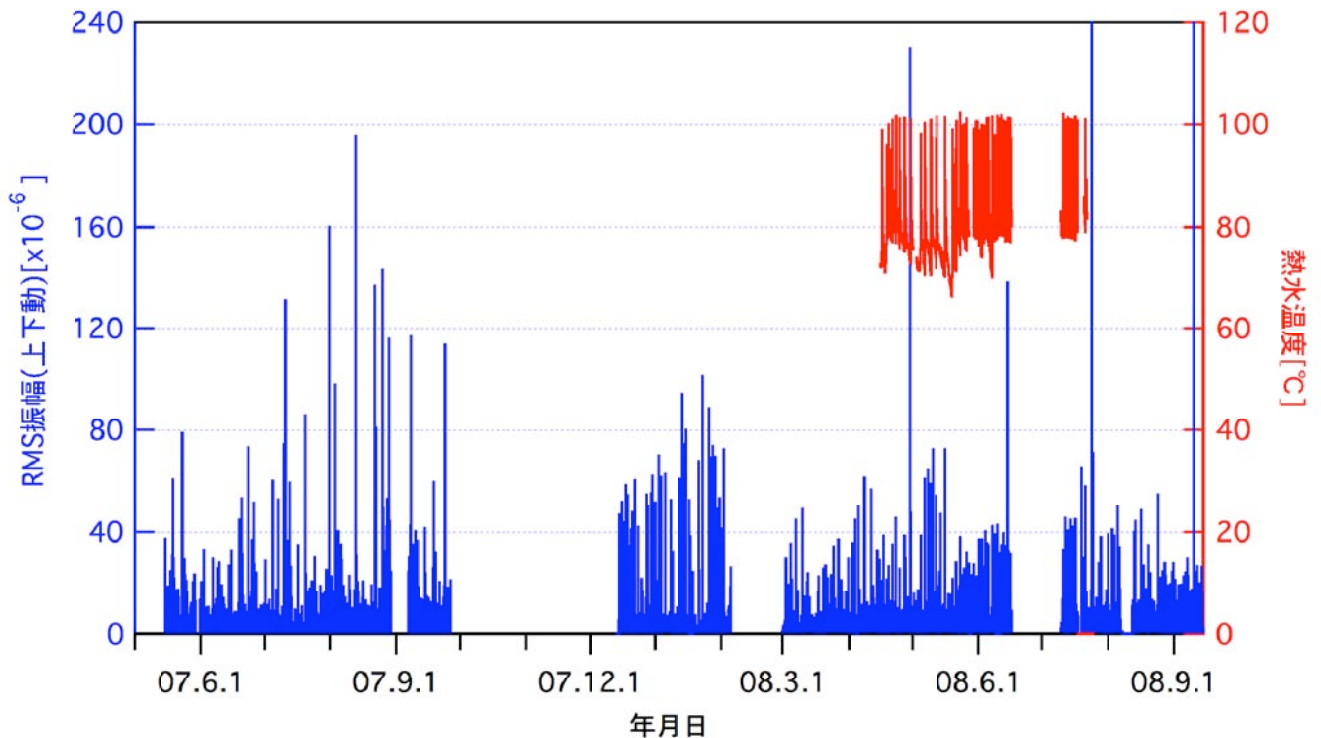


図1. 大正地獄内の熱水温度(赤)と1分ごとのRMS地動振幅(青)の時間変化. 熱水温度はテレメーター観測結果による. 温度センサー設置深度は満水面下約5mである.

(大島・安孫子・前川)

倶多楽火山